

新人看護職員指導計画表

岩手県立中部病院 看護教育委員会

到達目標

1. 看護職員として必要な基本姿勢と態度が習得できる。
2. 医療安全の確保、患者及び家族への説明と助言、適確な看護診断と適切な技術を提供する看護実践技術を習得できる。
3. 看護実践における管理的側面を習得できる

時期	目標	内容	方法
4月	職場の環境に慣れる 日勤の業務の流れを理解できる	<p>1 入職時オリエンテーション 医療安全 感染防止 看護倫理 看護記録 看護提供体制 薬品管理 接遇 災害時の対応</p> <p>2 新採用技術研修Ⅰ 与薬の技術：静脈内注射・点滴、点滴の管理、輸液ポンプ 症状・生態機能管理技術：静脈内採血・検体の取扱い、 バイタルサインの観察・解釈 感染防止の技術：スタンダードプリコーション</p>	<p>集合研修 医療局・院内ガイドラインに沿って説明 講義 見学、デモンストレーション</p> <p>集合研修：演習 認定看護師・医療安全専門員の活用 DVD「 」</p>
		<p>3 病棟内オリエンテーション (1) ①病棟の運営と概要について ②病棟内の物品、場所の案内と管理について ③業務内容について ④診療録、看護記録等について ⑤薬品管理について ⑥安全管理について ⑦感染管理について ⑧受け持ち制について 受け持ち看護師、担当看護師、コーディネーターの役割 ⑨その他 (2) 日常業務について ①入院から退院までの流れに沿った各業務内容、方法 ②看護用品、診療材に関する業務 ③中材に関する業務 ④麻薬・抗精神薬、毒薬の取扱い ⑤感染防止対策：標準予防策、ゴミ、針刺し防止、洗濯物 滅菌物の取扱い ⑥薬品管理に関すること ⑦医療器械、器具に関すること ⑧月間・週間・毎日の病棟スケジュール (3) 診療録について ①つづり方 ②指示受け、実施サインについて ③看護記録について ④入院診療計画書について ⑤褥瘡診療計画書について ⑥転倒・転落アセスメントシートについて ⑦各種チェックリストについて ⑧身体拘束フローシート ⑨その他各部署特有のものについて</p>	<p>OJT オリエンテーション *指導者は他の業務を受け持たず指導に専念する。 *マニュアルに沿って説明する。</p>
		<p>4 担当看護師業務の実際 (1) 患者個々の状態に応じた処置・検査・ケアの実際 『一緒に行う』 技術演習Ⅰ項目の実際(バイタルサインの観察、解釈、採血・注射・与薬) (2) 基本的看護技術(新人看護職員研修到達目標参照) ・環境調整技術 ・食事援助技術 ・排泄援助技術 ・活動・休息援助技術 ・清潔・衣生活援助技術 ・創傷管理技術 ・呼吸・循環を整える技術 ・与薬の技術 ・症状・生態機能管理技術 ・苦痛の緩和、安楽確保の技術 ・感染防止の技術 ・安全確保の技術 ・その他(死後の処置)</p>	<p>OJT (1)指導者が患者を担当しながら、担当看護師の業務の実際を指導する。  (2)指導者と一緒に軽症患者を受け持ちケアを実践する。(担当患者数 1名～数名)</p>
5月	夜勤業務の流れを理解できる。	<p>1 看護記録 形式の監査(正しい記録の書き方の習得)</p> <p>2 リフレッシュ研修① 悩みなど新人メンバー間で共有しあう仲間づくり</p> <p>2 夜勤のオリエンテーション (1)夜勤業務の流れについて (2)災害時の対応 非常口・消火器等非常時の確認、使用方法 (3)緊急時の医師・家族への連絡方法 (4)逝去時の取扱い</p> <p>3 担当看護師業務の実際 (1) 患者個々の状態に応じた処置・検査・ケアの実際 『一緒に行う』 (2) 基本的看護技術(新人看護職員研修到達目標参照)</p> <p>4 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</p>	<p>集合研修：講義・演習</p> <p>集合研修：グループワーク *ピアカウンセリングなどを取り入れ、何でも話せる環境を整える</p> <p>OJT *夜勤を1～2回程度体験(指導者について見学、ケアの実際を体験する)し夜勤に入ること</p> <p>*マニュアルに沿って説明・</p> <p>OJT 指導者と一緒に軽症患者を受け持ちケアを実践する。(担当患者数 4名～6名)</p> <p>OJT *記録は、必要時指導者が再チェックする。</p>
6月	指導を受けながら割り当てられた業務を行うことができる	<p>1 新採用技術研修Ⅱ 創傷管理技術</p> <p>2 担当看護師業務の実際 (1) 患者個々の状態に応じた処置・検査・ケアの実際 『1人で行う』 (2) 基本的看護技術(新人看護職員研修到達目標参照)</p> <p>3 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</p>	<p>1集合研修：講義・演習 講師：認定看護師</p> <p>OJT 2 (1)担当看護師として自力で行動するが、必ず指導者のチェックを受ける。  (2)夜勤までに1人でできるか確認 OJT</p>

時期	目標	内容	方法
7月	当日担当する受持ち患者の状態を把握し、基本的ニーズを掴むことができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 救急救命処置技術 挿管の介助 人工呼吸器、徐細動器の取扱い</li> <li>2 担当看護師業務の実際 (1) 患者個々の状態に応じた処置・検査・ケアの実際 『1人で行う』 (2) 基本的看護技術(新人看護職員研修到達目標参照) (3) 看護計画立案に必要な患者の情報収集を行う。</li> <li>3 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</li> <li>4 担当看護師の役割・チームメンバーの役割 カンファレンスへの参加(自分から意見を述べてみよう！)</li> </ol>	<p>1 集合研修: 講義・演習</p> <p>OJT 2 (1) 担当看護師として自力で行動するが、必要時指導者のチェックを受ける。</p> <p>OJT</p> <p>OJT</p>
8月	看護計画にそった実践と評価ができる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 担当看護師業務の実際 (1) 患者個々の状態に応じた処置・検査・ケアの実際 『1人で行う』 (2) 基本的看護技術(新人看護職員研修到達目標参照) (3) 参加型看護計画について 受持ち看護師とともに看護計画にそった看護実践と評価</li> <li>2 輸血について(輸血チェックリスト活用)</li> <li>3 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</li> </ol>	<p>OJT 担当看護師として自力で行動し、指導者とともに看護計画の評価を行う。</p> <p>OJT</p> <p>OJT</p>
9月	日勤スタッフとして一人たちで、必要時に自ら助言を依頼できる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護記録の監査について プロセス監査</li> <li>2 リフレッシュ研修② 「例)私のリフレッシュ方法-フリートーク」</li> <li>3 担当看護師業務の実際 ★『業務計画を立て行動し、時間内に仕事が終わる』 (1) 予定の入院患者の取扱い (2) 退院患者の指導・サマリーについて</li> <li>4 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</li> </ol>	<p>集合研修: 講義・演習</p> <p>集合研修: グループワーク</p> <p>OJT 担当看護師として自力で行動し、予定の入院患者にも対応する。</p> <p>OJT</p>
10月	緊急入院の準備と取扱いができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 緊急入院の準備と対応について</li> <li>2 担当看護師業務の実際 多重課題への対応(ロールプレイ・OJT)</li> <li>3 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</li> </ol>	<p>OJT</p> <p>集合研修 OJT</p> <p>OJT</p>
11月	患者・家族の気持ちを理解し、説明・対処ができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新採用技術研修Ⅲ 呼吸・循環を整える技術</li> <li>2 看護補助者への対応 (1) 看護補助者へ委譲している業務の理解とフォロー</li> <li>3 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</li> </ol>	<p>集合研修: 講義・演習 講師: 認定看護師</p> <p>OJT</p> <p>OJT</p>
12月	チームメンバーのあり方を理解してメンバーシップがとれる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 他部門との連携方法</li> <li>2 担当看護師業務の実際 重症患者の観察と看護 『一緒に行動』</li> <li>3 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</li> </ol>	<p>OJT</p> <p>OJT 重症患者を指導者と一緒に担当</p> <p>OJT</p>
1月	基本的看護技術を安全・確実に実施できる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護過程の展開 受持ち看護師の役割 看護計画立案</li> <li>2 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</li> </ol>	<p>集合研修: 講義・演習</p> <p>OJT 受持ち看護師として1名患者をうけもち、助言を受けながら看護過程を展開する。</p>
2月	看護実践における管理的側面が身に付く。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「成長した自分」</li> <li>2 病棟における特有疾患の理解(部署ごとのチェックリスト参照) ①疾患の理解 ②所属部署で行なわれる検査の準備・介助の理解</li> </ol>	<p>集合研修: 発表</p> <p>OJT</p>
3月	担当看護師の役割が身に付く		